

幸世の歌



5月26日 第7回通常総会

JA宗谷南

2016NEN
6GATUGOU
~SEASON49~

第7回通常総会



5月26日枝幸町中央コミセンにて第7回通常総会が、135名(本人出席59名、委任状16名、書面出席60名)出席の下開催されました。

平成28年5月26日、枝幸町中央コミセンにて宗谷南農業協同組合第7回通常総会が行われました。

始めに物故組合員・役職員への黙禱を行い、JA綱領を朗唱し、表彰状授与を行いました。

表彰状は農業後継者に対し今後の農業に対する意欲を期待し激励状として、乙忠部の「石田晃介さん」・歌登西歌登の「山崎知紀さん」・風烈布の「戸澤慧さん」が連合会を代表し、中央会旭川支所中島支所長より授与されました。

また、農業後継者定着者に対し、初妊牛の購入費として100万円の目録を上音標の「坂東翼さん」・「山田唯太さん」・歌登西歌登の「山崎知紀さん」が贈呈されました。

続いて良質乳出荷者の、上音標の「山崎孝敏さん」・山田の「中野隆さん」・岡島の「今井敏さん」が表彰され、最後に永年勤続職員として、管理部管理課「今家課長」が表彰されました。



議長に選任された、米内潤二さん
書記に任命された、君ヶ袋係長(左)と鳴海係長(右)



総会開会にあたり向井地組合長は、昨年を振り返りTPPに向けての動きや農協改革などの政治・政策的な問題による農業の将来的な不安を感じさせる年であり、更には離農・休農があったにも関わらず前年乳量を上回った事について、組合員皆様の日々の努力に感謝を述べ、個体価格の高騰なども含め組合員の経営は安定した収支の結果、農協運営に関しましても良好な結果となり改めて感謝を申し上げ、これからの審議について、活発な意見を持って審議されるようお願い申し上げます。

議長には風烈布の米内潤二さんが選任され審議が開始されました。

事務局から、議案第1号より議案ごとに説明があり、定款の変更から始まり、最後12号議案の役員の選任まで、全議案が賛成多数により承認されました。



特別決議を朗読する奥出女性部長(中)
樋口部員(左)
小林部員(右)



特別決議を朗読する今青年部長(中)
森次部員(左)
松田部員(右)



2件の報告事項のあと、特別決議の「指定団体制度の機能を維持する特別決議」を女性部を代表して奥出部長が、「TPPから北海道農業・地域社会及び国民の命と暮らしを守る特別決議」を青年部を代表して今部長が朗読し、盛大な拍手を持って採択されました。

監事

- 高橋 壮治 (再)
- 平田勝一郎 (再)
- 佐々木英世 (新)

理事

- 向井地信之 (再)
- 山崎 幸夫 (再)
- 小野寺俊一 (再)
- 下山 勲 (再)
- 寺前 孝義 (再)
- 小林 政夫 (再)
- 木村 浩 (再)
- 清野 盛 (再)
- 吉田 明彦 (新)

新任理事・監事



佐々木監事



吉田理事

長年お疲れ様でした



退任される開地監事



退任される辻理事

総会閉会にあたり、向井地組合長は、近年の農業情勢を踏まえ農業は地域活性を担っており農業者以外の農業の進出を危惧している、やはり家族経営体の増加が地域活性には必要と考えている、また牛乳の指定団体制度については、その機能は守っていかなければならない、TPPが加速していけば、日本の農業は海外との競争が始まる、自分達の経営を守るためには農業者が1つにまとまり、団結力と組織力を発揮しなければならぬ、その為の系統結集であることを強調し、今後激変が予想される農業情勢を組合員皆様と考え乗り越えて行きたいと述べました。

また、本総会の終結をもって理事及び監事全員が任期満了となる為、理事9名、監事3名が選任され、総会後の理事会・監事会で、代表理事組合長に向井地氏・代表監事に高橋氏の再任が決定されました。

また、辻理事・開地監事が任期満了に伴い退任となり、新たに吉田理事、佐々木監事が選任されました。辻理事・開地監事、大変お疲れ様でした。



乳牛導入資金目録贈呈者
坂東翼 (奥)
山田唯太 (中)
山崎知紀 (手前)



激励状授与者
山崎知紀 (奥)
戸澤慧 (中)
石田晃介 (手前)



永年勤続表彰者
今家管理課長



良質乳出荷者表彰者
山崎孝敏 (奥)
中野隆 (中)
今井敏 (手前)

表彰状授与者



宗谷南農協青年部 第7回通常総会



総会参加者交流会
日頃の営農についての話や、近年の酪農情勢について話し合いました。



開会挨拶をする今
青年部長
28年度もJA宗谷南
青年部部長を続投し、
宗青協では副部長に
就任しました。

第7回JA宗谷南青年部通常総会が5月10日に行われました。
JA宗谷南より若山部長、浜田課長、宗谷農業改良普及センターより高橋主査、よつ葉乳業(株)より木幡酪農担当、JA宗谷南女性部より奥出部長が来賓として出席されました。今年から宗谷地区青年部の地区役員が変わり、総会日程の変更や青年部の新規入部予定者などについて話合われました。
また5月23日に、歌登町の料理店にて、青年部新人歓迎会を行いました。
これより1年ほど実際に青年部活動に参加してもらい、青年部加入を考えて頂く企画の一環として歓迎会を行い、青年部活動の際にはどんどん参加頂きたいと思えます。



新人歓迎会の様子 16名参加しました。



宗谷南農協女性部 第7回通常総会



開会挨拶をする奥出女性部長

4月27日に第7回JA女性部通常総会が行われました。普及センターより金子普及員と渡邊普及員、よつ葉乳業(株)より木幡酪農担当、JA宗谷南青年部より大塚副部長が来賓として出席されました。今年度は1泊2日の視察研修を計画しており、行き先について議論されました。



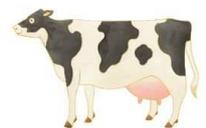
総会飾花
音標佐々木さんより



牛乳の一元出荷について解説を行う
よつ葉乳業(株)木幡さん



総会後の交流会の様子
オードブルを囲みながら日頃の営農や家庭のことなどを話し合いました。





宗谷南農協出品入賞牛

部	名号	出品者	成績
1	オムラ ゴールドウイン ウエンテイ	小椋 義則	1位
1	グレンディ ヤルシアン サベージ	山崎 紀幸	5位
2	ホールスター エクストリーム パーク	高橋 慶大	1位
2	オムラ イツチヤン ヤルシアン	小椋 義則	3位
2	マ外-ア ブロウ プラチナ シルキー ET	赤坂 一弘	9位
3	マ外-ア アルマーニ イグニター	赤坂 一弘	5位
4	ニシキ アンソニー チップ チampion	赤坂 一弘	1位
6	カーネリアン ホープ スパークリング	山崎 紀幸	2位
7	ハツピーライン アメイジング エツセ	内田 喜久男	1位
7	オムラ ハイローン アツテンパー	小椋 義則	6位
7	ハービーユー ウイントブルック シマー	寺前 吉幸	9位
8	M.F インスパイアード アフターショック クラシック	関口 真也	7位
9	JC モラリー パンビ ET	澤田 和人	9位
11	オムラ ジャスター ET	小椋 義則	3位
12	M.F ロベル パーンズ ラステイ	関口 真也	1位

2016年道北ブラックアンドホワイトショウが5月14日、ホクレン豊富地域家畜市場にて開催されました。宗谷、留萌地区より54戸、110頭の出品があり、日頃の乳牛改良の成果を競いました。当農協からは8戸、17頭の出品がありました。

審査員には北海道ホルスタイン農業協同組合「小泉俊裕」氏があたり、スピーディーかつ的確なジャッジで執り行われました。

審査の結果当農協から5頭が1位を獲得。第12部 関口真也さん出品「M.F ロベル パーンズ ラステイ」がシニアリザーブチャンピオンに輝きました。



リザーブ・シニアチャンピオン
M.F. ロベル パーンズ ラステイ (関口 真也)

例年になく温かくなりました。本共進会が、共進会シーズンの皮切りとなりますが、出品者の皆さまには各共進会にて優秀な成績を収めて頂きたいと思っております。

各チャンピオン牛

グラント・シニアチャンピオン	ヒンベル ドラマチック ブラックストーン	稚内市 堀 輝乙
リザーブグラント・インターメディアイトチャンピオン	スカイハイ ゴールドチップ アイリス	稚内市 白崎 紘希
ジュニアチャンピオン	ガラント スパークリング ウイント	苫前町 中嶋 卓広
リザーブジュニアチャンピオン	ノースフィールド プレンチ アクミー マストロ	幌延町 無量谷 裕
リザーブインターメディアイトチャンピオン	レッドブリック ブラックストーン トヨサト	遠別町 佐久間 陽生
リザーブシニアチャンピオン	M.F. ロベル パーンズ ラステイ	枝幸町 関口 真也



2016年北海道ブラックアンドホワイトショウが5月28日と29日、安平町早来の北海道ホルスタイン共進会場にて開催され、当農協から2戸3頭の出品がありました。当農協から北海道ブラックアンドホワイトショウへの出品はこれが初めてとなります。

北海道各地(一部他県)より252頭の出品があり、審査員には北海道ホルスタイン農業協同組合の「共進会認定審査員」に認定されている、上士幌町・酪農家の「小椋茂敏」氏があたり、審査が執り行われました。

審査の結果、9部 小椋義則さんの出品「オムラ ハイローン アツテンパー」が3位に入賞しました。

来年の出品へも期待が高まっています。

2016 HOKKAIDO Black and White Show



審査員
上士幌町 酪農家 小椋茂敏 氏

各チャンピオン牛

グラント・インターメディアイトチャンピオン	TMF ナゲル アツ アンナ ロー	清水町 (有)田中牧場
リザーブグラント・リザーブインターメディアイトチャンピオン	グロリーランド ベツスリ- ハツトリ	別海町 酒井 保幸
ジュニアチャンピオン	TMF ウォーカーズ スパーク セナ	清水町 (有)田中牧場
リザーブジュニアチャンピオン	オーグリーフ MBB ソライ	江別市 (学)酪農学園
シニアチャンピオン	スウィートネス アドバント エントリー ET	上士幌町 スウィートネスソサエテ
リザーブシニアチャンピオン	OK エレイト ライセル	清水町 大久保 大輔

当農協出品牛

2部	オムラ イツチヤン ヤルシアン	小椋 義則
8部	ハツピーライン アメイジング エツセ	内田 喜久男
9部	オムラ ハイローン アツテンパー	小椋 義則

第28回JA北海道大会 パネリスト提言

第28回JA北海道大会 パネルディスカッション
「550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』」の実現に向けた農業の魅力発信
北海道農業協同組合中央会 副会長 内田 和幸 氏

JA北海道大会で開催したパネルディスカッションでパネリストの皆さんから提言頂きました「北海道農業とJAグループに期待すること」を前回に引き続き、紹介します。



内田 和幸 氏
(うちだ かずゆき)

北海道農業協同組合中央会 副会長

最後は、JAグループを代表してJA北海道中央会内田副会長からの提言を紹介します。

「力強い農業」、「豊かな魅力ある農村」の実現に向けた組合員の役割

北海道の農業は今まで非常に過酷な条件の中で、先人たちが長年にわたって築いてきた、食料基地としての大きな役割を担っている。自信と誇りを持って、これからの大きな変化の時代に立ち向かっていかないといけない。

農業者一人一人も大きな力ではあったが、そこに協同組合があったからこそ、ここまで発展してくることができた。これからもJAの力を大事にしていかなければならない。

こういう時こそ農協に結集して、団結力、組織力を発揮しないと、これからの時代は乗り切っていけない。

一人よりも10人、10人よりも100人というところで意思の結集を通じながら難局を乗り切っていかなければならない。

大会決議には、農業所得20%増大、新規就農者の倍増、流通改革、生産コストの削減、など具体的なことがあるが、いずれも一人ではできない。

北海道農業は、それぞれの地域のなかであって、欠かせない産業。地域を味方につける、より農業の理解者を味方につける。北海道の農産物は安心安全、そしておいしいと言われ、さらに地域貢献をしながらJAの、協同の素晴らしさを外に発信していく必要がある。そういう積み重ねが道民550万人の支持につながっていく。そして、理解者につながり、応援団になっていくと思っている。

JA組織は、今まで色々と組合員の所得確保のために改革を行いながら進んできた。しかし、それ以上に時代の流れは速く、その時代にどうやって適応しながら、臨機応変に柔軟に対応していくか、ということが今後求められる。そのことによってさらに農家組合員の所得、また経営が安定するような近道になればと思っております、あえて言わせて頂いた。



最後に一言

私たちは、道民・国民に安心安全な食料を供給しているという、大きな役割を担っている。

そのことには自信と誇りをもつていい。北海道のなかで農業をこれ以上衰退させないようにしっかりと取り組みをしていかなければならない。

もつと外に向かつて、農業の良さ、食、そしてまた農業に取り組む姿勢を発信していかなければならない。

そのことが、道民550万人と共に創る力強い北海道農業、豊かで魅力ある農村の実現に必ず結び付く。3年間一緒に頑張りますよ。



授精所だより ～乳房炎について～



体細胞数と乳量損失率及び乳代損失

個体乳の体細胞数は、7万個/ml以下では乳量の損失はなく、体細胞数が高くなるにつれて乳量の損失率は高まり、2産以上の牛についてはその傾向は高まる。

リニアスコアとは
体細胞を階層別に分けたものです。目安として、3～4が潜在性乳房炎(軽度)、5以上が臨床型乳房炎(重度)に区分できます。(乳検でわかります！)

体細胞数と乳量損失率

リニアスコア	体脂肪数 (万個/ml)		1日当り損失率(%)				
			初産	2産以上			
0	0	～	1.7	0	0	<例> 初産:8,000kg/年、2産以上:9,500kg/年	
1	1.8	～	3.5	0	0		
2	3.6	～	7	0	0	初産	2産以上
3	7.1	～	14.1	1.9	2.9	-15千円/年	-26千円/年
4	14.2	～	28.2	3.7	5.7	-28千円/年	-52千円/年
5	28.3	～	56.5	5.5	8.3	-42千円/年	-75千円/年
6	56.6	～	113.1	7.5	10.8	-57千円/年	-98千円/年
7	113.2	～	226.2	9.3	13.3	-71千円/年	-121千円/年
8	226.3	～	452.5	11.2	15.6	-86千円/年	-142千円/年
9	452.6	～		13.1	17.7	-100千円/年	-161千円/年

乳質改善は、所得向上・経営向上につながる！

乳質改善(特に乳房炎防除)による酪農経営のメリットは大きい☆

- ① 治療牛の減少 → 治療費の減(抗生物質事故のリスクも減る)
- ② 個体廃棄乳の減少 → 搾乳頭数&バルク出荷乳量の増
- ③ 損失乳量の減少 → 個体乳量の増(個体生産性の向上)
- ④ 乳質ペナルティの減 → 乳質乳代の増
- ⑤ 淘汰牛の減 → 個体販売収入の増

乳質乳代(乳質評価を加味した乳代精算)について

【現行制度内容】(社)北海道酪農検定検査協会等が行う個人別・旬別の乳質検査成績(生菌数・体細胞数)を基準に、乳質ランクに応じた乳質乳代を支払う。支払内容は乳代等清算書等に記載。

・生菌数格付け

単位: /ml

区分	ランク1	ランク2	ランク3
生菌数	14千以下	15～104千	105千以上
条件	当該旬に上記条件を満たす場合	同左	同左
乳質単価	2円	0円	-3円
対象乳量	判定旬乳量	判定旬乳量	判定旬乳量

生菌数・体細胞数:
両ランク1/月
= +4円/kg、

両ランク3/月
= -5円/kg

・体細胞数格付け

単位: /ml

区分	ランク1	ランク2	ランク3
体細胞数	304千以下	304千以下	304千以上
条件	当月内の3旬全てにおいて上記条件を満たす場合	当月内の1旬または2旬のみ上記条件を満たす場合	当月内の3旬全てにおいて上記条件を満たす場合
乳質単価	2円	0円	-2円
対象乳量	判定当月乳量	判定当月乳量	判定当月乳量

※最大9円/kg
の格差となる！！

巡回ドックで 健康管理

4月12日～15日にかけて、旭川厚生病院による巡回ドックが行われ、210名が受診されました。

巡回ドックは、生活習慣病など病気の早期発見・早期治療を目的に、毎年全道各地で行われています。

昨年においては、組合員関係者で18件の病気等による入院の報告がありました。

生活習慣病は、気が付きにくい病気ですので、是非厚生病院の巡回ドックを健康づくりの為に活用下さい。



春季廃プラ回収

5月19日・24日に春季廃プラ回収を行い、およそ95トンの農業用廃プラが回収されました。

廃プラ等は産業廃棄物であり適正に処理する必要があります。またリサイクル可能な大切な資源でもあります。北海道ではリサイクル率100%を目指していますので「分ければ資源、まぜればゴミ」リサイクルで循環型社会を目指す為にご協力ください。

また、来年からは4月中の回収を予定しております。



公共育成牧場

夏季入牧

5月30日～31日公共育成牧場の夏季預託牛の受け入れを開始しました。

作業に当たったのは、町内若手酪農家・枝幸町職員・アグリサポート職員・農協職員で行い、本牛の写真、体重測定、健康状態などを確認し砂ぼこりの中の作業でした。

冬季預託牛と併せると700頭が飼養管理される事となります。秋の退牧時には、50kg～100kg増体で、皆様の元へ帰れる予定です。



新入職員紹介



営農部営農課(準職員)
鈴木 めぐみ

この度、営農部営農課に配属となりました。まだまだ分からない事ばかりですが、少しでも皆様のお役に立てる様頑張る仕事を覚えたいと思いますので、宜しくお願い致します。

編集委員

村田 太
伊藤 太良
川合 直樹
滝口 直也
森川 忠幸
高本 等
浦谷 正憲